

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社K S K 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL https://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 金谷 新 TEL 042-378-1100
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,684	9.7	923	9.2	965	10.2	649	1.1
2026年3月期第1四半期	6,095	10.0	845	358.0	876	325.5	642	335.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 688百万円 (△1.0%) 2026年3月期第1四半期 695百万円 (289.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	107.08	104.68
2026年3月期第1四半期	106.10	103.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	23,838	18,201	75.5
2026年3月期	26,110	18,609	70.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,995百万円 2026年3月期 18,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	181.00	181.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	190.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,100	9.1	3,100	13.1	3,300	14.6	2,300	378.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,636,368株	2026年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,564,348株	2026年3月期	1,572,948株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	6,063,609株	2026年3月期1Q	6,051,527株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、インバウンド需要の拡大や設備投資の持ち直しを背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の上昇に加え、物価上昇による実質賃金の低下の影響が継続しており、個人消費の回復は足踏み状態が続いております。また、米国の通商政策や金融政策の動向、中国経済の減速懸念、中東・ウクライナ情勢等の地政学リスクなど、世界経済を取り巻く不確実性は依然として高く、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界におきましては、A I 技術の飛躍的な進歩と実用化の進展を背景に、企業における業務改革や競争力強化に向けたシステム投資需要が拡大いたしました。特に、A I の業務活用を見据えたシステム開発、データ基盤整備、クラウド環境構築等の需要が高まるとともに、情報セキュリティ対策の強化やI Tインフラの高度化に対する投資も継続しております。一方で、A I、クラウド及びサイバーセキュリティ等の成長分野において高度な専門性を有する人材の確保が重要な課題となっているほか、人件費上昇への対応も求められるなど、事業環境は引き続き変化しております。

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「Blue Wind ChapterⅡ」の最終年度として、「事業の強靱化」「S X（サステナビリティ・トランスフォーメーション）への取組み」「人と組織の強靱化」を重点課題に掲げ、市場環境の変化に柔軟に対応できる企業体質の構築に努めております。また、成長分野への人材シフトや人材育成の強化に加え、新卒採用及びキャリア採用を積極的に推進し、人的資本への投資を継続しております。

さらに、当社グループでは、持続的な成長と企業価値向上を実現するためには従業員一人ひとりの健康が重要であるとの考えのもと、健康経営への取組みを継続して推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,684百万円で前年同期比588百万円（前年同期比9.7%増）の増収となりました。利益面では、契約単価の見直しによる収益改善や、成長分野へのシフト等を引き続き進めております。一方、売上原価等の費用面におきまして、給与水準の引き上げを4期連続で実施したこと等の人的資本投資を積極的に行っていることから、営業利益は923百万円で前年同期比77百万円の増加（同9.2%増）となり、経常利益は965百万円で前年同期比89百万円の増加（同10.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、いわゆる賃上げ促進税制の適用除外となったことによる税額控除の減少及び防衛特別法人税の導入により法人税等が増加したことから、649百万円で前年同期比7百万円の増加（同1.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

国内における半導体産業強化に向けた投資拡大を背景に、半導体関連分野の設計開発案件が堅調に推移しております。また、通信機器部品の機構設計及び組込ソフトウェア開発の受注に加え、医療機器分野における設計開発業務についても引き続き安定して推移したこと等から、売上高は1,229百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益は352百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

(ロ) I Tソリューション事業

自社開発パッケージソフトウェアが引き続きセグメント収益を牽引しています。また、企業における業務効率化や生産性向上を目的としたシステム開発案件の需要も継続しております。モバイル関連ビジネスを含めて総じて堅調に推移したことから、売上高は1,575百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は491百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

企業や官公庁等におけるネットワーク基盤の更改需要やクラウド環境構築需要に加え、サイバー攻撃の高度化を背景とした情報セキュリティ対策関連案件の需要が引き続き高水準で推移しております。こうした需要に対応するため人材投資を継続的に実施し、受注機会の拡大に努めた結果、売上高は3,878百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は999百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,212百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,581百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が394百万円、有価証券が201百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は9,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が44百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が17百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は23,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,272百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,866百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる預り金が501百万円増加した一方で、賞与引当金が1,888百万円、未払法人税等が453百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が2百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は5,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,863百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は18,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により649百万円、その他有価証券評価差額金が38百万円それぞれ増加した一方で、配当の支払により利益剰余金が1,097百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年4月30日付「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,877	5,296
受取手形、売掛金及び契約資産	5,472	5,078
有価証券	3,603	3,402
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	349	314
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,302	14,089
固定資産		
有形固定資産	694	684
無形固定資産	89	100
投資その他の資産		
投資有価証券	7,195	7,151
その他	1,828	1,810
投資その他の資産合計	9,023	8,962
固定資産合計	9,807	9,748
資産合計	26,110	23,838
負債の部		
流動負債		
買掛金	223	219
未払法人税等	796	342
賞与引当金	3,015	1,126
その他	1,726	2,205
流動負債合計	5,761	3,894
固定負債		
退職給付に係る負債	1,440	1,443
資産除去債務	115	116
その他	182	182
固定負債合計	1,738	1,741
負債合計	7,500	5,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,781	1,796
利益剰余金	15,638	15,189
自己株式	△1,103	△1,097
株主資本合計	17,764	17,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	568	606
退職給付に係る調整累計額	49	51
その他の包括利益累計額合計	618	657
新株予約権	226	206
純資産合計	18,609	18,201
負債純資産合計	26,110	23,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,095	6,684
売上原価	4,453	4,841
売上総利益	1,641	1,842
販売費及び一般管理費	796	919
営業利益	845	923
営業外収益		
受取利息	18	25
受取配当金	12	15
その他	0	0
営業外収益合計	30	42
営業外費用		
その他	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	876	965
特別利益		
受取保険金	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	876	965
法人税等	234	316
四半期純利益	642	649
親会社株主に帰属する四半期純利益	642	649

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	642	649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	38
退職給付に係る調整額	8	1
その他の包括利益合計	53	39
四半期包括利益	695	688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	695	688

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	I Tソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,084	1,381	3,629	6,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	2	3
計	1,084	1,382	3,631	6,098
セグメント利益	296	397	947	1,641

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,641
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△796
四半期連結損益計算書の営業利益	845

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	I Tソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,229	1,575	3,878	6,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	—	2
計	1,229	1,578	3,878	6,686
セグメント利益	352	491	999	1,843

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,843
セグメント間取引消去	△1
全社費用（注）	△919
四半期連結損益計算書の営業利益	923

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （2025年4月1日から 2025年6月30日まで）	当第1四半期連結累計期間 （2026年4月1日から 2026年6月30日まで）
減価償却費	27百万円	27百万円